

2022年4月12日

各位

会社名 株式会社ビザスク

代表者名 代表取締役 CEO 端羽 英子

(コード：4490、東証グロース)

問合せ先 執行役員 CFO ファイナンスグループ長 小風 守

(TEL. 050-3733-8513)

業績予想の修正に関するお知らせ

2021年10月15日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示いたしました業績予想について修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

2022年2月期（通期）の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

	取扱高 (注)1	営業収益	のれん償却前 営業利益 (注)2	営業利益 (注)3	経常利益	親会社株 主に帰属 する当期 純利益	1株当 り当期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,380	百万円 3,400	百万円 △250	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円銭 未定
今回発表予想 (B)	5,693	3,702	58	△112	△389	△475	△63.20
増減額 (B-A)	+313	+302	+308	—	—	—	—
増減率	+5.8%	+8.9%	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (累計)	2,570	1,604	—	208	197	201	23.39

(注) 1. 「取扱高」とは、知見プラットフォーム事業において顧客から得た対価（値引控除後）の数値であり、アドバイザーへの謝礼を含みます。

(注) 2. 「のれん償却前営業利益」とは、のれん償却費を差し引かずに計算した営業利益であり、営業利益+のれん償却費+買収により新たに識別した無形資産の償却費により計算しております。なお、Coleman社の買収に伴う一時的なM&A関連費用の見込金額約688百万円を営業費用として計上したあとの金額であります。

(注) 3. 「営業利益」は、一時的なM&A関連費用の見込金額約688百万円を営業費用として計上したあとの金額であります。

2. 業績予想修正の理由

当社は、2021年10月15日に2022年2月期の連結業績予想を改めて公表いたしました（詳細は、同日の適時開示「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください）。

今般、本開示日時点における業績の状況を踏まえて、2022年2月期の連結業績予想を改めて公表いたします。

当社は、2021年8月18日の取締役会において、エキスパートネットワークサービス事業を米国を中心にグローバルに展開している Coleman Research Group, Inc.（本社：米国ニューヨーク州、CEO:Kevin C. Coleman、以下「Coleman 社」といいます。）の発行済株式を100%取得し、子会社化すること（以下「本買収」といいます。）を決議し、その後、2021年11月1日（日本時間）に本買収を実行し、本買収の結果、Coleman 社（同社の子会社を含む）は当社の連結子会社となりました。本買収の詳細は、同日の適時開示「当社グローバル展開を加速するための米国 Coleman 社の買収、第三者割当によるA種種類株式、B種種類株式（現物出資（デット・エクイティ・スワップ））及び第14回新株予約権の発行、定款の一部変更並びに資本金及び資本準備金の額の減少に関するお知らせ」等をご覧ください。

その結果、2022年2月期（2021年3月1日から2022年2月28日）の当社連結財務諸表には、Coleman 社の第4四半期会計期間（2021年10月1日から2021年12月31日）を連結することとなりました。

本買収完了前の Coleman 社を含まない当社グループの通期連結業績予想（2021年3月1日から2022年2月28日）は、2021年10月15日時点において直近の良好な業績動向を踏まえて取扱高3,900百万円、営業収益2,400百万円、一時的なM&A関連費用を含めない営業利益400百万円と予想しておりました。その後、業績の伸長により、取扱高4,171百万円、営業収益2,606百万円、一時的なM&A関連費用を含めない営業利益543百万円と本開示時点において予想しております。業績が伸長した主な要因は、当社サービスの積極的な広告宣伝等によりビザスク interview の新規クライアント層が拡大したことのほか、人材の積極的な採用並びにシステム開発投資等によりサービスの高度化や利用ニーズの取り込みを進めることができ、既存クライアントにおける平均的な取扱高が上昇したこと、また、そのほかのサービスについてもコンサルティングファームや事業法人の幅広い顧客層に拡販することができたことによるものです。加えて、費用面においてもM&Aコストが想定よりも抑制されたことにより、M&Aコスト計上後の営業利益が従前の連結業績予想よりも増加すると予想しております。

また、Coleman 社の2021年12月期第4四半期会計期間における連結業績予想は、2021年10月15日時点において、取扱高1,480百万円、営業収益1,000百万円、のれん等償却前の営業利益125百万円であると予想しておりました。一方、その後の業績の伸長並びに円安の影響により、取扱高1,521百万円、営業収益1,095百万円、のれん等償却前の営業利益203百万円であると本開示時点において予想しております。

以上を踏まえ、本買収により当社グループの通期業績と Coleman 社の第4四半期のみを連結した場合の統合後当社グループの連結業績予想は、取扱高5,693百万円、営業収益3,702百万円、のれん償却費及び一時的なM&A関連費用を含めない場合の営業利益は746百万円、これに一時的なM&A関連費用を計上した場合の営業利益は58百万円、さらにこれに買収により新たに識別したのれん及び Coleman 社の無形資産にかかる減価償却費を計上した場合の営業利益は△112百万円（営業損失）と予想しております。

以上